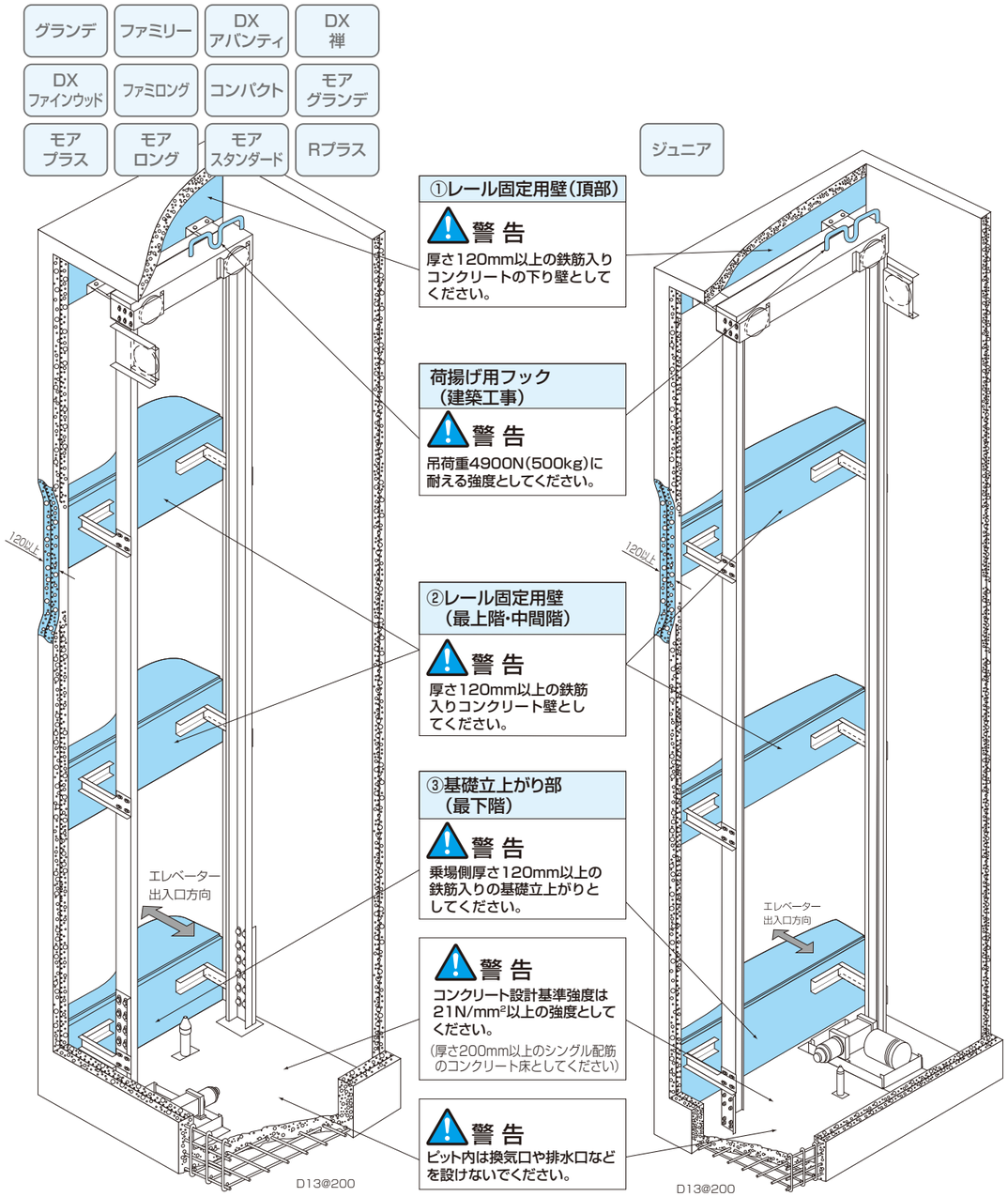
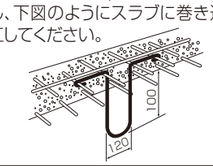
標準断面図

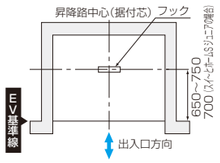
昇降路の構造



注意 荷揚げ用フックは、鉄筋φ13以上のものを使用し、下図のようにスラブに巻き込んで施工してください。



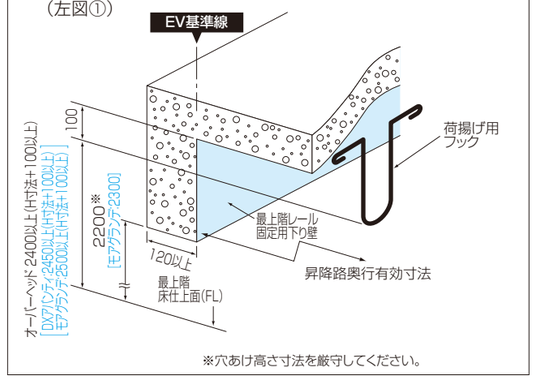
注意 荷揚げ用フックの取付位置



注意 階高が2400mm※1であっても、上部階の床厚が200mmを超える場合は、穴あけ高さ2200mm※2を確保できず、乗場ユニットを設置することができません。
※1遮煙乗場ドア適用の場合は2450mm。
［モアグランデまたは出入口・天井高さ100mmUP（オプション）適用の場合は2500mm（2550mm）遮煙］
※2［モアグランデ］または出入口・天井高さ100mm UP（オプション）適用の場合は2300mm。

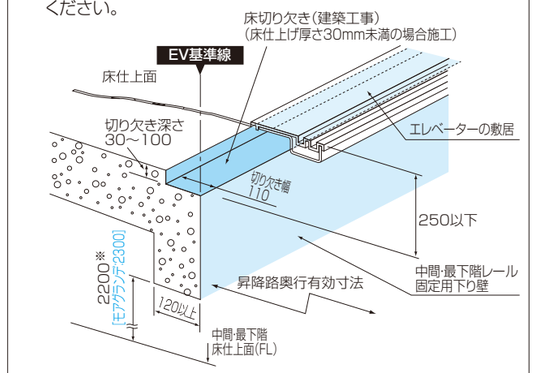
レール固定用壁（頂部）

●レール固定用ブラケットを下り壁に設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの下り壁を設けてください。（左図①）



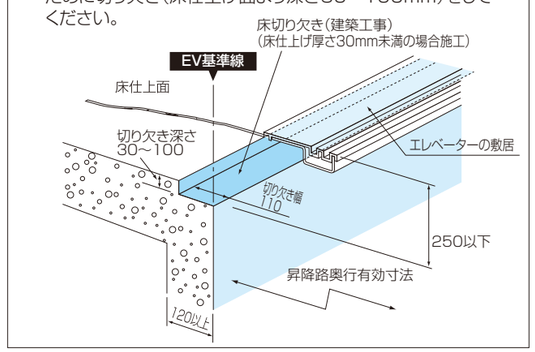
レール固定用壁（最上階・中間階）

●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリート壁を設けてください。（左図②）
●床仕上げ厚さは250mm以下としてください。
但し、床仕上げ厚さが30mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き（床仕上げ面より深さ30～100mm）をしてください。



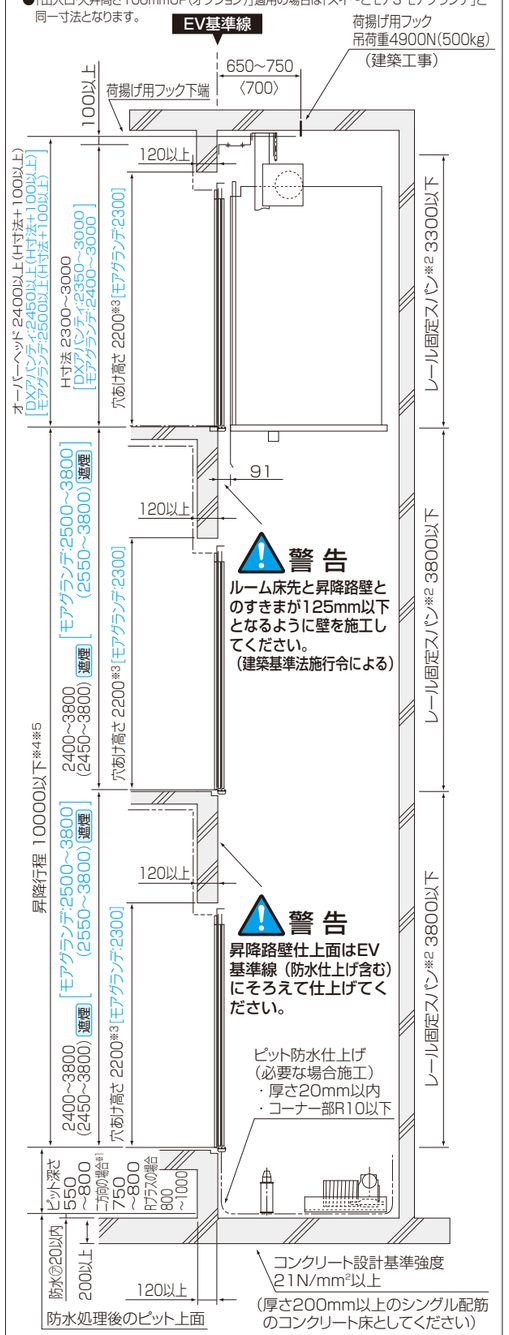
基礎立上がり部（最下階）

●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の基礎の仕上がりを設けてください。（左図③）また、防水施工の場合は防水面がEV基準線となります。
●床仕上げ厚さは250mm以下としてください。
但し、床仕上げ厚さが30mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き（床仕上げ面より深さ30～100mm）をしてください。



昇降路断面図

●遮煙 の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。
●〈　〉内の数値は「スイ～とホームS ジュニア」の寸法を示します。
●「出入口・天井高さ100mmUP（オプション）」適用の場合は「スイ～とモアS モアグランデ」と同一寸法となります。



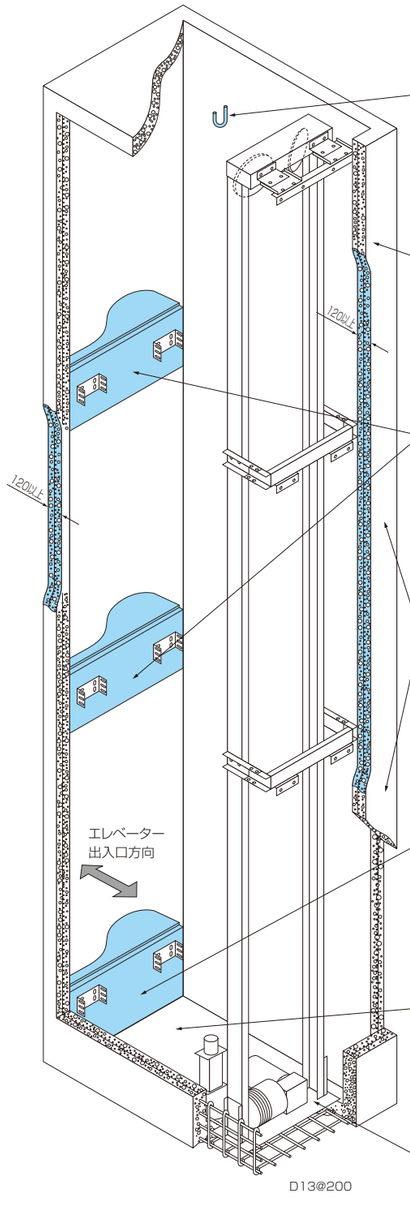
※1 「スイ～とホームS ジュニア」「スイ～とモアS モアグランデ」「スイ～とメゾン Rプラス」は二方向出入口を選択できません。
※2 レール固定スパンが3800mm以下（最上階は3300mm以下）となるように建築負荷荷重を受けるための構造物を設けてください。
※3 穴あけ高さ寸法を厳守してください。
※4 階間は9.3m以下としてください。（令第129条の10、平成20国告第1536号）詳しくは当社までお問い合わせください。
※5 昇降行程10m超仕様（オプション）適用の場合（ファミリー、DX一方向出入口のみ）昇降行程最大13m。
●EV基準線とは、出入口側の昇降路内面を示します。
●参考：1kgf=9.8N

コンクリート造 標準施工図　スイ～とホームS ファミスリム

標準断面図

昇降路の構造

ファミスリム



荷揚げ用フック（建築工事）

⚠ 警 告

吊荷重4900N(500kg)に耐える強度としてください。

①レール固定用壁(頂部)

⚠ 警 告

厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの下り壁としてください。

②乗場枠固定用壁（最上階･中間階）

⚠ 警 告

厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの下り壁としてください。

③レール固定用壁（最上階･中間階）

⚠ 警 告

厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの下り壁としてください。

④基礎立上がり部（最下階）

⚠ 警 告

乗場側厚さ120mm以上の鉄筋入りの基礎立上がりとしてください。

⚠ 警 告

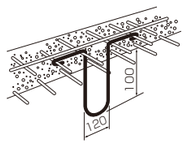
コンクリート設計基準強度は21N/mm²以上の強度としてください。

(厚さ200mm以上のシングル配筋のコンクリート床としてください)

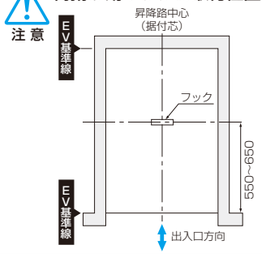
⚠ 警 告

ピット内は換気口や排水口などを設けないでください。

⚠ 注意　荷揚げ用フックは、鉄筋φ13以上のものを使用し、下図のようにスラブに巻き込んで施工してください。



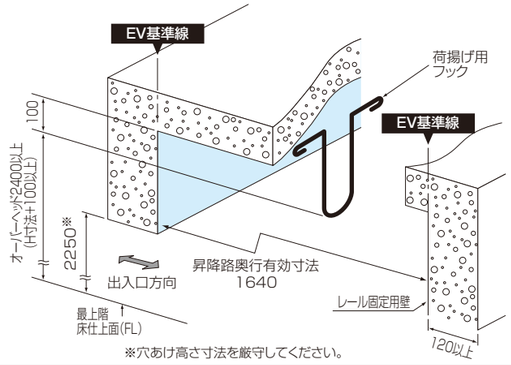
⚠ 注意　**荷揚げ用フックの取付位置**



⚠ 注意　階高が2450mmであっても、上部階の床厚が200mmを超える場合は、穴あけ高さ2250mmを確保できず、乗場ユニットを設置することができません。

レール固定用壁(頂部)

●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋入りのコンクリートの壁を設けてください。(左図①)

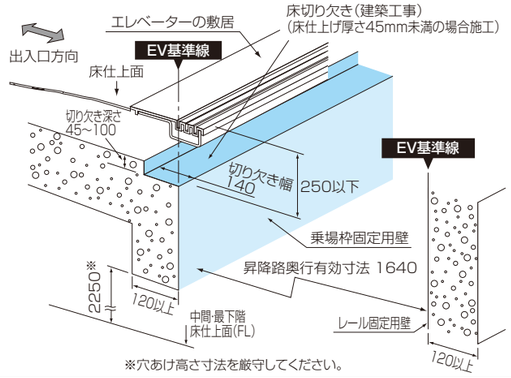


※穴あけ高さ寸法を厳守してください。

レール･乗場枠固定用壁(最上階･中間階)

●レール･乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリート壁を設けてください。(左図②、③)

●床仕上げ厚さは250mm以下としてください。
但し、床仕上げ厚さが45mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き(床仕上げ面より深さ45～100mm)をしてください。

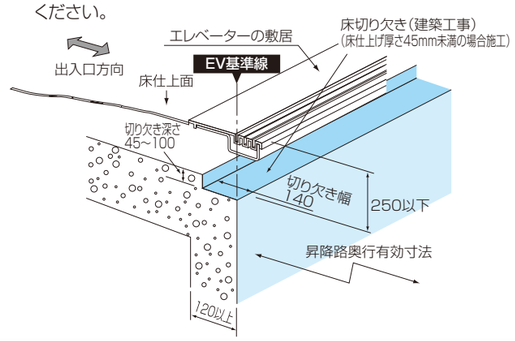


※穴あけ高さ寸法を厳守してください。

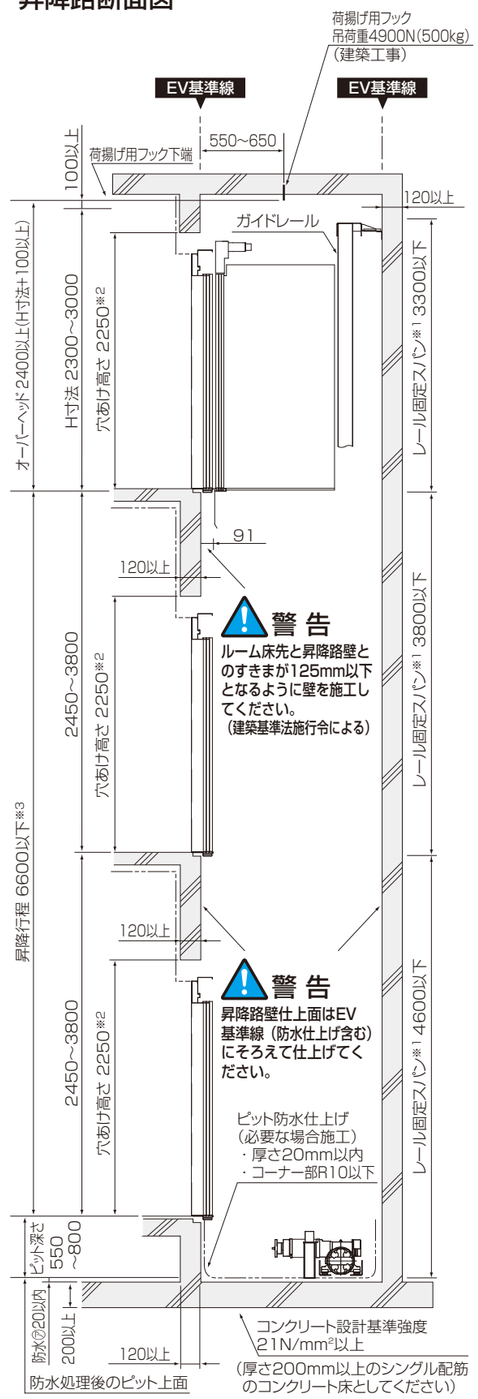
基礎立上がり部(最下階)

●乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の基礎の立上がりを設けてください。(左図④)
また、防水施工の場合は防水面がEV基準線となります。

●床仕上げ厚さは250mm以下としてください。
但し、床仕上げ厚さが45mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き(床仕上げ面より深さ45～100mm)をしてください。



昇降路断面図



⚠ 警 告

ルーム床先と昇降路壁とのすきまが125mm以下となるように壁を施工してください。
(建築基準法施行令による)

⚠ 警 告

昇降路壁仕上面はEV基準線（防水仕上げ含む）にそろえて仕上げてください。

ピット防水仕上げ
(必要な場合施工)
・厚さ20mm以内
・コーナー部R10以下

※1 レール固定スパンが下記に示す寸法以下となるように建築負荷荷重を受けるための構造物を設けてください。
最上階：3300mm以下
中間階：3800mm以下
最下階：4600mm以下
※2 穴あけ高さ寸法以上を厳守してください。
※3 停止箇所数は、最大3停止となります。

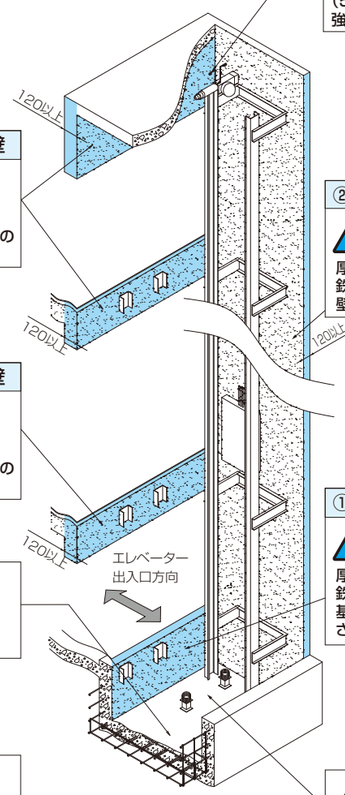
●EV基準線とは、出入口側及び背面側の昇降路内面を示します。
●参考：1kgf=9.8N

コンクリート造 標準施工図　スイ～とメゾン Rメート

標準断面図

昇降路の構造

Rメート



荷揚げ用フック（建築工事）
警 告
吊荷重4900N（500kg）に耐える強度としてください。

①乗場枠固定用壁
警 告
厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの壁としてください。

②レール固定用壁
警 告
厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの壁としてください。

①乗場枠固定用壁
警 告
厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの壁としてください。

①乗場枠固定用壁
警 告
厚さ120mm以上の鉄筋入りコンクリートの基礎立上がりとしてください。

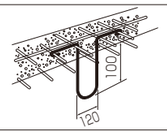
警 告
ピット内は換気口を設けないでください。

警 告
昇降路壁には構造スリット（耐震スリット）を設けないでください。

警 告
コンクリート設計基準強度は21N/mm²以上の強度としてください。
（厚さ200mm以上のシングル配筋のコンクリート床としてください）

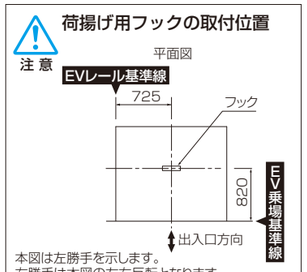
本図は左勝手を示します。
右勝手は本図の左右反転となります。

注意　荷揚げ用フックは、鉄筋φ13以上のものを使用し、下図のようにスラブに巻き込んで施工してください。



荷揚げ用フックの取付位置

注意

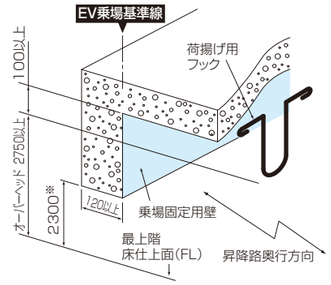


本図は左勝手を示します。
右勝手は本図の左右反転となります。

注意　階高が2600mmであっても、上部階の床厚が300mmを超える場合は、穴あけ高さ2300mmを確保できず、乗場ユニットを設置することができません。

乗場枠固定用壁（頂部）

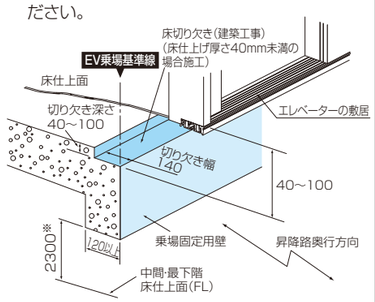
●乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図①）



※穴あけ高さ寸法を厳守してください。

乗場枠固定用壁（最上階・中間階）

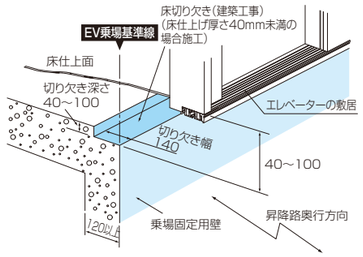
●乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図①）
●床仕上げ厚さは40～100mm以下としてください。ただし、床仕上げ厚さが40mm未満の場合は、乗場機器設置のために切り欠き（床仕上面より深さ40～100mm）をしてください。



※穴あけ高さ寸法を厳守してください。

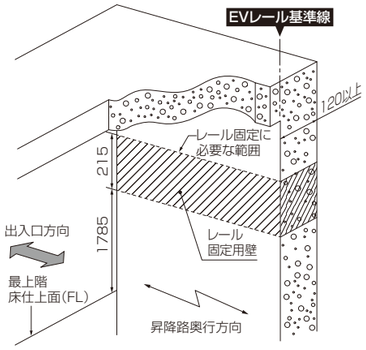
乗場枠固定用壁（最下階）

●乗場固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図①）
●床仕上げ厚さは40～100mm以下としてください。ただし、床仕上げ厚さが40mm未満の場合は乗場機器設置のために切り欠き（床仕上面より深さ40～100mm）をしてください。



レール固定用壁（頂部）

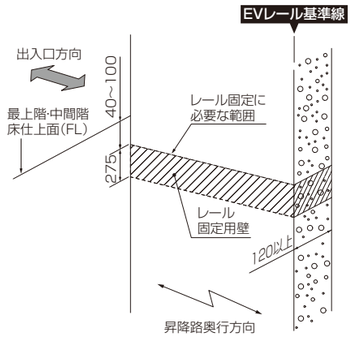
●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図②）



本図は左勝手を示します。
右勝手は本図の左右反転となります。

レール固定用壁（最上階・中間階）

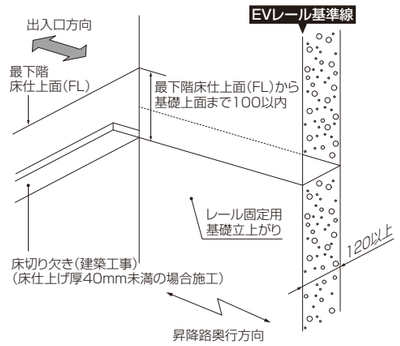
●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図②）



本図は左勝手を示します。
右勝手は本図の左右反転となります。

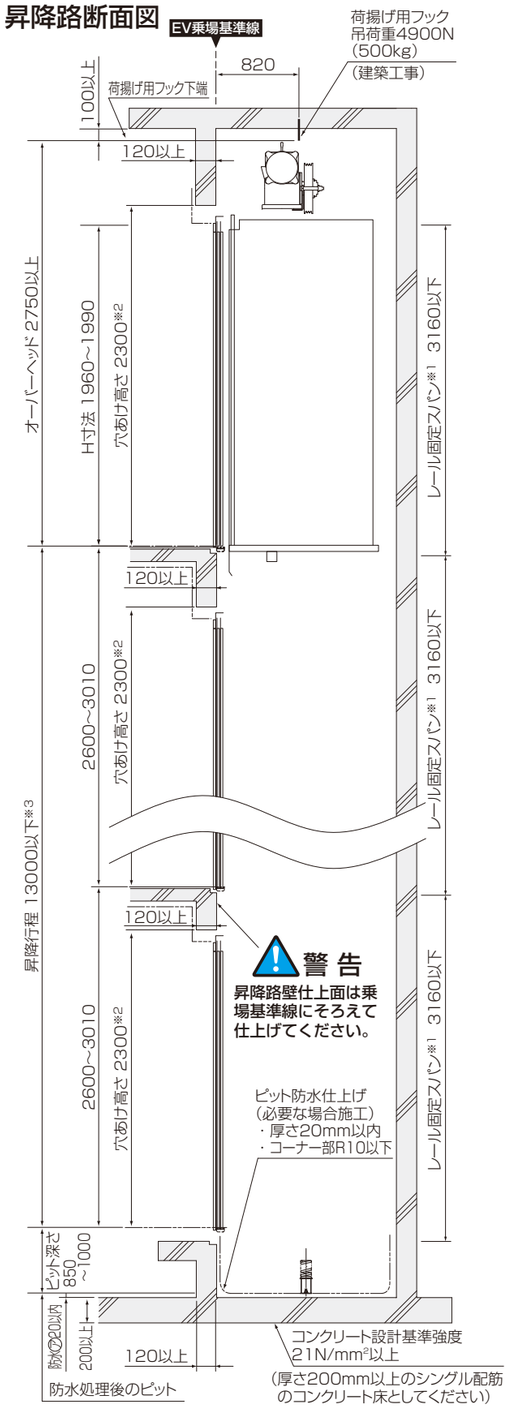
レール固定用壁（最下階）

●レール固定用ブラケットを設置しますので、厚さ120mm以上の鉄筋コンクリートの壁を設けてください。（左図②）



本図は左勝手を示します。
右勝手は本図の左右反転となります。

昇降路断面図



警 告
昇降路壁仕上面は乗場基準線にそろえて仕上げてください。

ピット防水仕上げ
（必要な場合施工）
・厚さ20mm以内
・コーナー部R10以下

※1 レール固定スパンが3160mm以下となるように建築負荷荷重を受けるための構造物を設けてください。
※2 穴あけ高さ寸法を厳守してください。
※3 階間は10m以下としてください。（令第129条の7、平成20国告第1454号）詳しくは当社までお問い合わせください。

●EV乗場基準線とは、出入口側の昇降路内面を示します。
●EVレール基準線とは、勝手側の昇降路内面を示します。
●参考：1kgf=9.8N

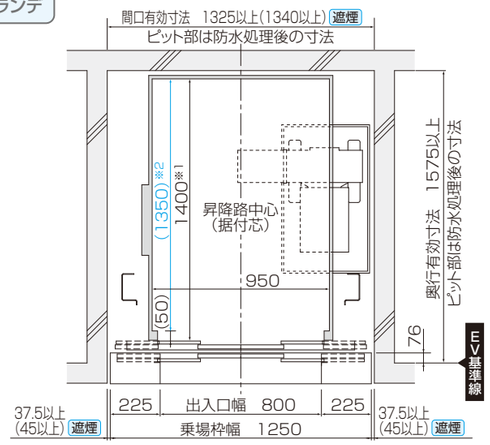
標準平面図

遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは69～74ページをご参照ください。
（遮煙の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。）

- ●下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- ●電気･電話工事は75～79、81ページをご参照ください。
- ●EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11～14ページをご参照ください。

グランデ　モアグランデ

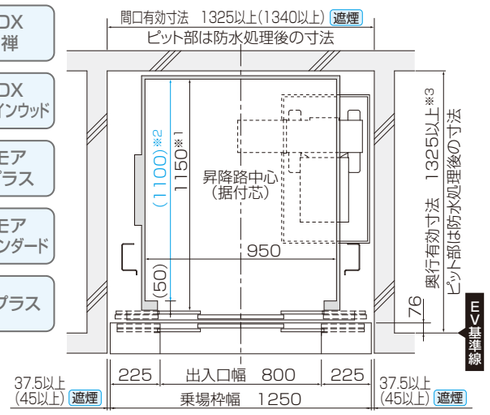
3人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、記載の値から踏込部の50mmを除いた1350mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。

ファミリー　DXアバンティ　DX禅　DXファインウッド　モアプラス　モアスタンダード　Rプラス

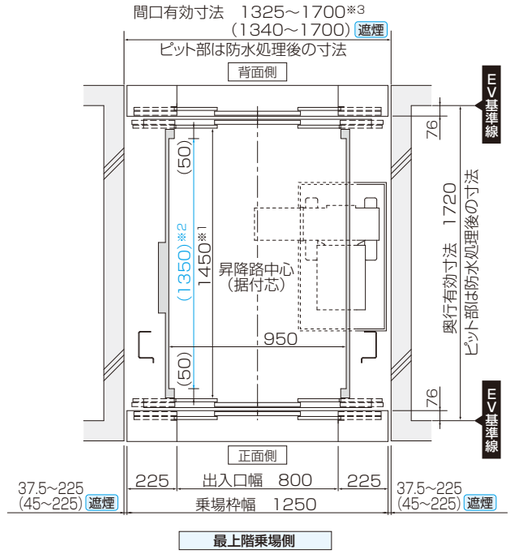
3人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、記載の値から踏込部の50mmを除いた1100mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。
※3 昇降行程10m超仕様（オプション）適用の場合（ファミリー、DX一方向出入口のみ）、奥行有効寸法1350以上となります。

グランデ

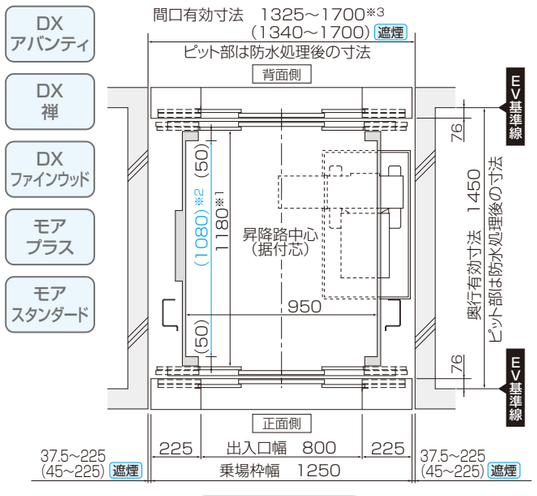
3人乗り･二方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1350mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。
※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

ファミリー　DXアバンティ　DX禅　DXファインウッド　モアプラス　モアスタンダード

3人乗り･二方向出入口



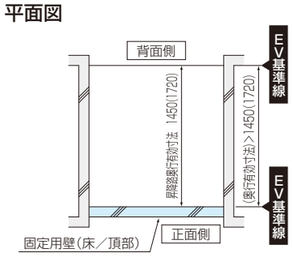
※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1080mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。
※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

ワンポイント!

奥行有効寸法>1450(1720)mmとなる場合

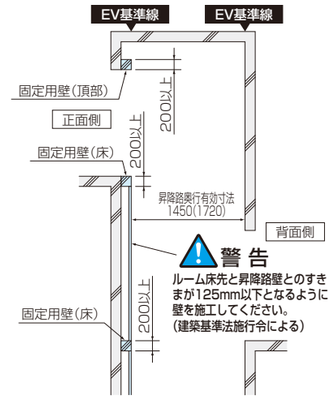
下図のように奥行有効寸法が1450(1720)mmより大きい場合には、奥行有効寸法が1450(1720)mmとなるよう必ず固定用壁（床／頂部）を施工してください。

平面図



（　）内の数値は「スイ～とホームS グランデ」の寸法を示します。

断面図



（　）内の数値は「スイ～とホームS グランデ」の寸法を示します。

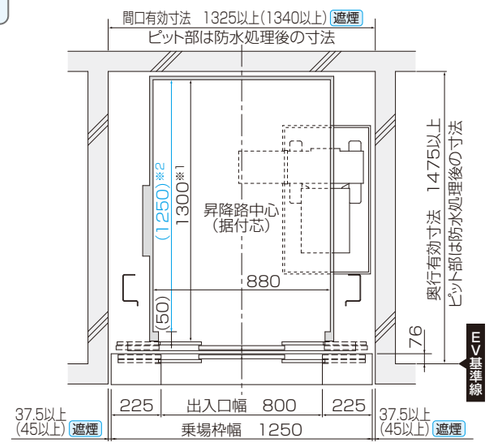
標準平面図

遮煙乗場ドア適用の場合は、一部寸法が異なりますので、詳しくは69～74ページをご参照ください。
（遮煙の値は遮煙乗場ドア適用の場合の寸法を示します。）

- ●下図の昇降路有効寸法を確保してください。
- ●電気･電話工事は75～78、81ページをご参照ください。
- ●EV基準線、二方向出入口の留意点につきましては11～14ページをご参照ください。

ファミロング　モアロング

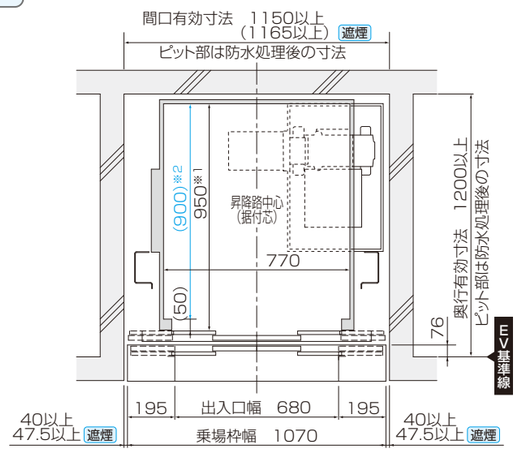
3人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた1250mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。

コンパクト

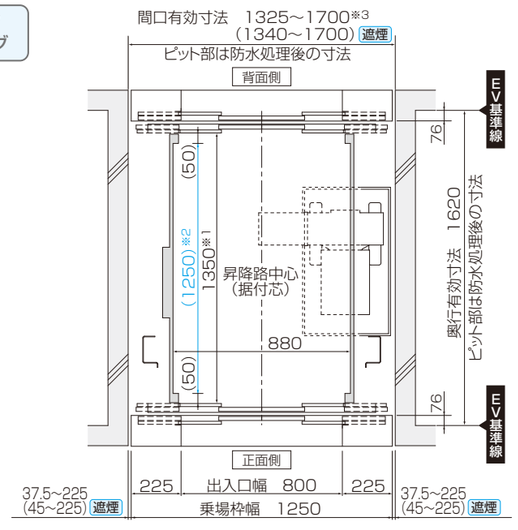
2人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた900mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。

ファミロング　モアロング

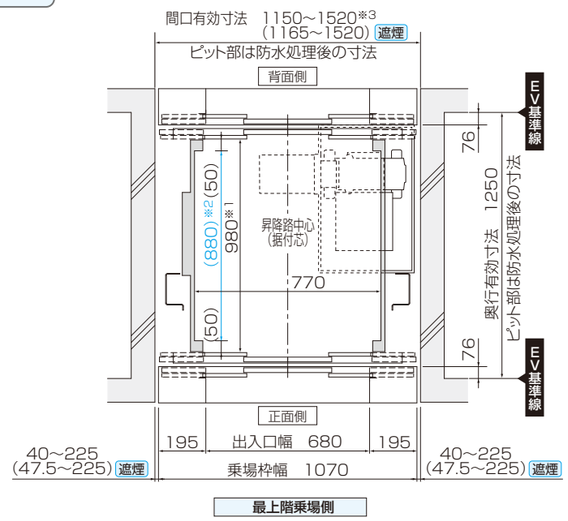
3人乗り･二方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた1250mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。
※3 間口有効寸法最大の1700mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

コンパクト

2人乗り･二方向出入口



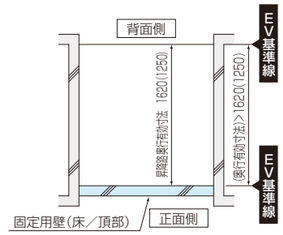
※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の100mmを除いた880mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部（センサー感知部分）を除いた奥行有効寸法です。
※3 間口有効寸法最大の1520mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

ワンポイント!

奥行有効寸法>1620(1250)mmとなる場合

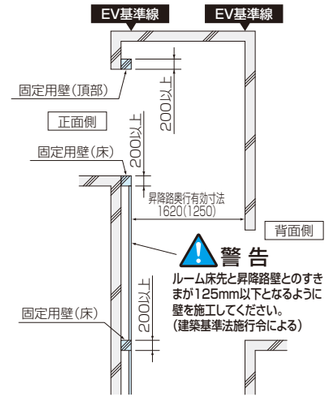
下図のように奥行有効寸法が1620(1250)mmより大きい場合には、奥行有効寸法が1620(1250)mmとなるよう必ず固定用壁（床／頂部）を施工してください。

平面図



（　）内の数値は「スイ～とホームS　コンパクト」の寸法を示します。

断面図



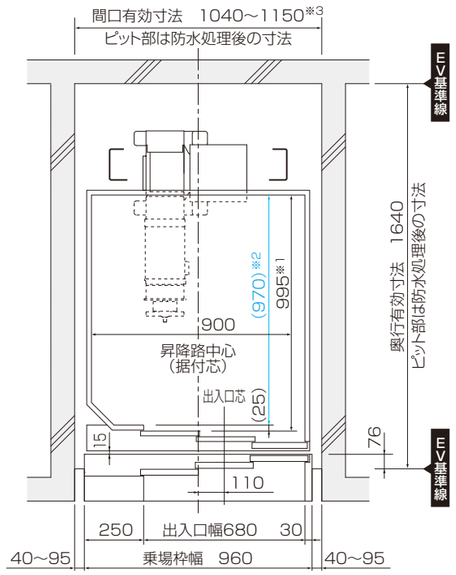
（　）内の数値は「スイ～とホームS　コンパクト」の寸法を示します。

標準平面図

●下図の昇降路有効寸法を確保してください。
●電気･電話工事は75～78、80、81ページをご参照ください。
●EV基準線の留意点につきましては11、15ページをご参照ください。

ファミスリム

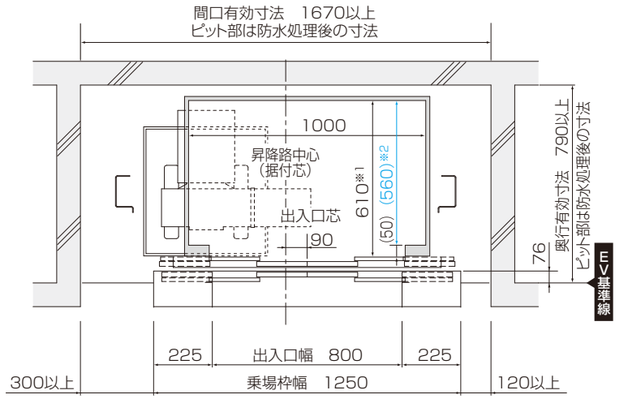
3人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の25mmを除いた970mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部を除いた奥行有効寸法です。
※3 間口有効寸法最大の1150mmの場合、有効寸法の中心が据付芯となります。

ジュニア

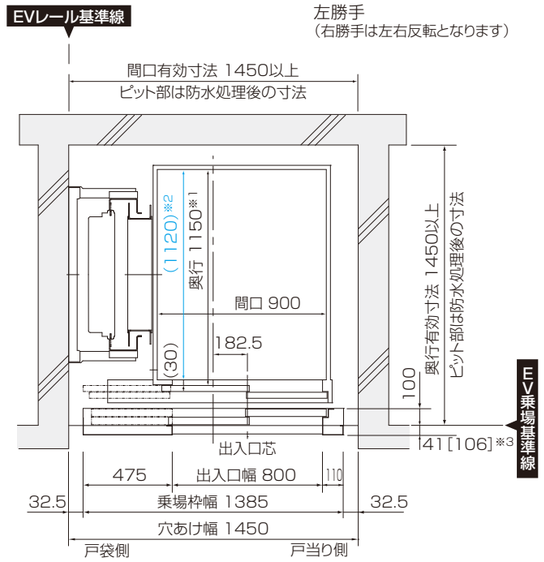
2人乗り･一方向出入口



※1 確認申請及び建築基準法による、床面積計算時のルーム奥行有効寸法は、踏込部の50mmを除いた560mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部(センサー感知部分)を除いた奥行有効寸法です。
※3 遮煙乗場ドア適用時の昇降路寸法は標準寸法と同じになります。

Rメート

3人乗り･一方向出入口



※1 確認申請および建築基準法による床面積計算時のルーム奥行寸法は、踏込部の30mmを除いた1120mmとなります。
※2 記載の値は、踏込部を除いた奥行有効寸法となります。
※3 [ ]内の数値は、最上階を示します。